

こころの駅舎 がん患者さん

第7号(平成30年12月20日)

「こころの駅舎」発行

(協力:地域連携室あざれあ)

“あるある”かわら版

だる〜い

No.7 さっちょこ 作



あるあるメモ

「だるい」「しんどい」など、がんのつらさは、なかなか人には伝わりにくいですね。

しかしそんな時、がんのつらさを受け止め、さりげなく行動に移してくれる家族がそばにいてくれたなら、何と心強いことでしょう。たとえその行動が思わぬ結果をうんだとしても、まあ大目に見てあげましょう。次はきっと上手くいくと信じて!



今年もお世話になりました

♪参加者全員でつくりあげる
“こころの駅舎”♪



今年も残りわずかとなりました。この一年“こころの駅舎”に参加されるお一人お一人が、それぞれ持っている力を存分に発揮してくださったと思います。

4月のがん体験発表をきっかけに、積極的に実習生などにご自身の体験や思いを伝えてくださった方、テーブルに飾るお花を準備してくださった方、参加者がホットする、おいしいお茶やお菓子を持参してくださった方、タクティールケアで癒しのひと時を提供してくださった方、がん患者さんやご家族に寄り添い、相談に応じてくださった方...この集いは、皆さんの優しい思いやりと愛によって、つくりあげられています。心より感謝申し上げます。来る年も、どうぞよろしくお願い致します。

冬のおすすめ...


~まあおぼちゃんの独り言~



♪雪やこんこ...犬は喜び...♪っていう童謡があるけれど、犬のように駆け回る冬の過ごし方はできないわね...私のおすすめは、お風呂ね!これからの季節、ゆず湯もいいんじゃないかしら。香りで身も心も癒される気がするわ~皆さんの冬のおすすめは何かしか?

先日の“こころの駅舎”では、冬におすすめの料理の話題が出ていたわよ。食事、睡眠、入浴など...体調を管理して、皆さんと一緒にこの冬を元気に乗り切りたいわ!

“4コマ漫画”に込めた思い

 4コマ漫画には「こころの
 駅舎」に参加されているがん
 患者さん・ご家族を中心に、
 患者さんを支える医療ス
 タッフなどが登場しています。
 ユーモラスに描かれるがん患
 者さんの日常(療養)生活
 のひとコマが「こんなこと“あ
 るある”」「こんなことがあるん
 だ・・・」と、がんに対する理解
 を深めるきっかけになればと
 願っています。

*漫画を描いてくださっている さっちよこ
 さんは、がん患者さんのご家族です。



- 毎月第4木曜日
- 開催形態
 イベント型(4月、8月、12月)
 定期型(上記以外の月)
- 東広島芸術文化ホール
 くらら
 東広島市西条栄町7番19号



がん患者による、がん患者のための読み物

がん患者 “あるある”かわら版

第 7 号



一般社団法人 東広島地区医師会
 地域連携室あざれあ
 電話：082-493-7360
 FAX：082-493-7361

